

お客様各位

2018年11月末日

デンツプライシロナ株式会社  
106-0041 東京都港区麻布台1-8-10 麻布偕成ビル

### 自主改修についてのお知らせ

謹啓 時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび弊社が製造販売しております除染・滅菌用洗浄器「DAC ユニバーサル」において、下記の通り製品改修を実施いたしますこと、ご連絡申し上げます。皆様にはご迷惑をお掛けしますこと、お詫び申し上げます。事情をご賢察の上、改修作業にご協力賜りますようお願い申し上げます。

謹白

#### 記

- |           |   |   |
|-----------|---|---|
| 一般的名称     | : | 除染・滅菌用洗浄器   |
| 販売名       | : | DAC ユニバーサル (承認番号: 22000BZI00012000)   |
| 改修対象      | : | 2008年10月19日～2018年11月20日出荷分  |
| 改修理由      | : | 日常メンテナンス時、本体表面の清掃時に裏側の電源プラグが意図せずに抜けかかる場合があり、そのまま使用を継続すると過電流による加熱で電源プラグの溶解や発煙を起こすケースがあることが判明しました。そのため、行政と相談の上、対策として12月よりプラグ固定ブラケットの取り付けを自主的に実施させていただくこととなりました。 |
| 改修方法      | : | 専門協力会社「エムシーサービス株式会社」が2019年11月末迄に順次実施させていただきます。作業内容は、電源プラグに固定ブラケットを装着します。詳細は p.3 をご確認くださいいたします。  |
| ご使用の際のお願い | : | <u>別紙資料の記載事項を確実に実施いただいている状態においては発煙などの事象は発生することはありません。</u>   |



電源プラグに固定ブラケットを装着

以上

本件についての技術的なお問合せ(専用ダイヤル)

TEL: 0120-737118

※定期メンテナンスや通常修理のお申し出を除く

## 製品に関わる事象

電源プラグ差込部の電氣的ショートが発生や装置内部の埃の蓄積に起因する問題により「DAC ユニバーサル」の電源ライン部が異常に加熱し発煙する事象が報告されました。

電源プラグ差込部については、プラグ先端の端子が抜けかかっている／摩耗により表面に傷がついている等の状態のままご使用された場合に電源プラグが発熱し樹脂部が溶解したり、電氣的ショートが発生し、装置に電源が供給できない状態になる可能性があります。

また、図 1 の中央付近にあります装置内部冷却用のスリットから埃が入り、蓄積された埃が原因で発煙に至るリスクもあります。上記事例がご使用中の装置の一部で確認されております。

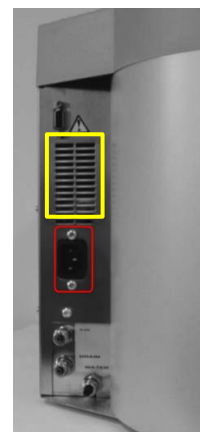


図 1- 冷却用スリット  
電源プラグ差込口

## リスク

電源の接続において、前述のような条件によってプラグ接触面に熱が発生します。例えば、電源プラグの接続が不十分な場合において、電源プラグの溶解が生じた報告が過去にありました。装置内部には複数の熱源があり冷却する必要があります。冷却方法は空調管理された院内の空気を装置内部へ取り込んで行います。そのため装置のハウジングの清掃を怠ったり、埃が溜まりやすい、または埃が舞いやすい環境に装置を設置した場合、装置内部に埃が蓄積され発煙するリスクが高まります。



図 2- 溶解した電源プラグ

**【重要】**これまでに、過剰な熱の発生により火災を起こした装置はありません。発煙に加えて煤(すす)で装置の本体が黒くなる事象が事例として確認されました(図 2 参照)。しかしながら最悪の場合、火災に発展する可能性も考えられます。

## 改修方法

「エムシーサービス株式会社」が、作業実施日のご連絡を順次させていただきます。対象製品の全てを改修させていただくにあたり、作業実施日まで暫くお待ちいただく場合が想定されますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。お客様からのご連絡の必要はございません。

尚、改修作業には、現場において数十分のお時間をいただく予定です。当該製品を持ち帰る、代替品をお渡しする予定はございません。

## ご使用の際のお願い

以下に記載の事項を確実に実施いただいている状態においては、発煙などの事象が発生することはありません。  
先ずは現状のご使用状況のご確認をお願いいたします。

装置側の電源プラグを抜き差しすると、電源プラグが十分に差し込まれない状態を、意図せず発生させる可能性があります。壁側コンセントであれば目視にて差し込み状態の確認が容易に行えますので、電源プラグの差し込みが不十分になることを防げるかと思います。つきましては、装置の電源を完全にオフする際は、壁側にあるコンセントの電源プラグを抜き差ししていただきますようお願いいたします。

特に回転台の上に本機を乗せてご使用されている場合は、装置背面にある排水フィルターの交換後に電源プラグが引っ張られることなく本体に確実に差し込まれていることをご確認ください。これは日々行われる電源のオンオフやメンテナンスによって電源プラグが意図せず誤った差し込み状態になる可能性を防ぐためです。

また、壁側のコンセントで電源プラグを抜き差ししていただき、装置の電源を完全にオフにする毎にも、同様に電源プラグをご確認していただく必要があります。



図 3- 電源プラグの正しい差込状態



図 4- 電源プラグの誤った差込状態

## 日常点検・清掃時のお願い

装置及び滅菌されたハンドピースを清潔に保つためにも風通しが良く、埃が舞うことが少ない場所に装置を設置していただき装置のハウジングの清掃を週ごと又は 50 サイクルごと(どちらか早い方)に行っていただくことで装置内部冷却用のスリットからの埃の侵入を限りなく減らすことができますので、設置環境をクリーンに維持することと定期的な装置の清掃をお願いいたします。

損傷のある電源プラグは図 5 に示すような状態が見受けられます。図 6 は損傷を受けていない正常な電源プラグになります。



図 5- 損傷がある電源プラグ



図 6- 正常な電源プラグ

装置外装に埃が蓄積している場合、図 7 に示すような状態になります。



図 7- 装置に蓄積した埃

### 2年ごとの定期メンテナンス

頻度：2年ごと または 3000 サイクルごと (どちらか早い方)  
最後の定期メンテナンス、または DAC Universal の使用開始から 2 年  
が経過した場合、または 3000 サイクル使用された場合は、画面に  
「Service needed」と表示され、同時に 2 秒間アラームが鳴ります。  
この場合、DAC Universal の性能を確認するために、担当の技術者による  
DAC Universal の定期メンテナンスの実施が必要です。

図 8- 参照：取扱説明書

電源プラグの損傷を確認された場合、図 7 のように装置外装に蓄積された埃を発見した場合、そのままの状態でご使用を続けた場合、装置から発煙等が発生する可能性だけに限らず、ご使用の環境によっては、最悪のケースとして火災に発展すること考えられます。速やかに電源ケーブルの交換または、清掃作業を行うようお願いいたします。また図 8 に示す、取扱説明書のガイドラインに合わせて、定期メンテナンスをお申し出くださいようお願いいたします。

引き続き、弊社製品をご愛顧承りますようお願い申し上げます。